

(法第 26 条関係「定款変更認証申請」)
(法第 28 条関係「書類の備置き」)
(法第 29 条関係「事業報告書等の提出」)

令和 4 年度の事業報告書

令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 母と子の虹の架け橋

1 事業の成果

(1) 虹の家

小規模保育所 B 型として 0 歳児～2 歳児の保育を継続。定員 16 名。

0 歳児から 2 歳児までの月齢、年齢的に身体的行動力が異なる子ども全員が同室での生活をしているため、日々、注意深く見守るよう努めている。天気の良い日には散歩に出掛け季節を感じたり、日々の生活や遊びの中でも育ちや学びを促した。

全面自園内給食を提供しており、季節や行事に合わせたメニューや、栄養バランスのとれた食事を心掛けている。薄味を基本とし、年齢別に食べやすい大きさ、柔らかさに気を配り、彩りを考え、目で見て食欲をかきたてるよう工夫をした。その日の献立や写真を入口に掲示し、保護者にも盛り付けや切り方など参考にさせていただけるよう、創意工夫のもと食育を推進し、保護者には食生活に関する相談、援助等の機会を作った。

新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度もボランティアの来所はなかった。園でも、例年以上に感染症対策に努め、職員のマスク着用や検温、手洗いはもちろんのこと、換気や消毒、除菌を徹底して行った。

例年通り、平田子育て支援センターにてクリスマス保育参観を予定していたが、新型コロナウイルス感染が園内で確認されたため、園児や家族、職員の安全確保のため、惜しまれながらも中止となった。

今年度から、毎月、講師を招いて体操教室、えいご教室を開催している。ボールや輪、マットなどを使用し、楽しくからだ全体を使つての運動の機会や、英語の歌やダンス、海外の絵本に触れることで、海外の文化や英語に親しみをもち、異文化交流の機会を得られ、子ども達も毎回笑顔で楽しく参加できた。

また、今年度も中妻地区の津波避難訓練に参加し、近隣住民や施設の方々と一緒に、実際の避難により近い形での訓練を行った。0～2 歳児在籍の当園にとっては、散歩車を押して避難するには狭さや障害物、段差なども多く、安全に避難するための課題は残るが、回数を重ねることにより、昨年度よりスムーズに避難できるようになった。

毎月 2 回のアドバイザー訪問は、保育への助言や感想、情報交換などの指導をしていただき、よりよい保育の提供のため、職員間での情報共有やスキルアップに努めた。

(2) ベビーホーム・虹

小規模保育所 B 型として 0 歳児～2 歳児の保育を継続。定員 12 名。

昨年から引き続き、毎月一回、講師を招いて体操教室を開催し、鉄棒、マット運動、輪投げなどを使った運動を子ども達の月齢に合わせて、指導していただいた。今年度からは、同様に、外部講師によるえいご教室を開き、歌やダンス、絵本を通じて子供たちが英語に触れる機会を設けた。

全面自園内給食を提供しており、季節や行事に合わせたメニューや、栄養バランスのとれた食事を心掛けている。薄味を基本とし、年齢別に食べやすい大きさ、柔らかさに気を配り、彩りを考え、目

で見て食欲をかきたてるよう工夫をした。その日の献立や写真を入口に掲示し、保護者にも盛り付けや切り方など参考にしていただけるよう、創意工夫のもと食育を推進し、保護者には食生活に関する相談、援助等の機会を作った。

毎月、様々な災害を想定して、避難訓練を実施し、不測の事態に備えた対策を行っている。年に一度は消防署を含めての訓練をし、通報から初期消火、近隣の公園までの避難など、指導、評価をしてもらった。

また、12月には恒例のクリスマス会を平田子育て支援センターで行い、クリスマスにちなんだものを親子で制作し、作成後はそれぞれ作品を発表してもらい、子どもや保護者の特徴が出て盛り上がった。子ども達は、場所見知りや保護者と一緒ということもあり、いつものようにとはいかなかったが、支援センターのおもちゃで遊んだり、のびのびと行動し笑顔も見られた。

天候が良い日は、散歩に行ったり公園に行き、草花を見て季節を感じながら遊ぶことが多く、時には近所の方々に声をかけていただき、ご挨拶をしたり、お話ししたりして地域の方々と触れ合いながら交流ができた。

(3) 平田子育て支援センター

令和2年4月1日より、釜石市の委託により事業を開始。

事業開始3年目となり、平田地域の方だけでなく、市内様々な地域からの利用が増えた。前年度に引き続き、コロナ禍ではあったが、1年間で延べ1224人の親子に利用をしていただいた。日々、利用者と接する中で、相談を受けたり、保育サービスに関する情報を提供したり、利用者と深く関わることができた。釜石市や地域の保健師と連絡を取り合い、関係機関との連携、協力体制も整えた。

感染症対策として、午前、午後1日2回のおもちゃや遊具等の除菌作業や、定期的な換気など、徹底的な感染対策にも努めた。

また、職員間のコミュニケーションや協力体制の構築をするため、日々の業務内容を振り返り共有し、ミーティングにおいてもケースカンファレンスをするなど、職員間の意識統一を図った。

(4) ファミリーサポートセンター

令和2年4月1日より、釜石市の委託により事業を開始。

ユーザー会員数33名、サポーター会員数10名、両方会員数2名。サポーターの実質稼働人員は、主に当法人の職員となっている。

受託3年目となり、当法人でのファミリーサポート事業も定着してきた。新型コロナウイルスの影響もあり、今年度も外部でのイベント託児はなかったが、計92回の活動を行った。ユーザー宅、サポーター宅、法人事務所、平田子育て支援センターを預かり拠点としているが、約9割以上の活動が子育て支援センターでの預かりだった。以前は、保護者のリフレッシュや通院、求職活動の際の預かりなど外出の際の預かりがほとんどだったが、ウィズコロナとなり、保護者の講座参加も増え、今年度は講座受講のための預かりが半数だった。

会員相互の交流会や情報交換等については、新型コロナウイルスの影響によりすべて開催は中止となった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 (千円)
支援を必要とする人々を支える事業	「虹の家」 小規模保育事業B型	4.4.1 ～ 5.3.31	虹の家	9人	6ヶ月～2歳児の待機児童 (100名)	49,351
	「ベビーホーム・虹」 小規模保育事業B型	4.4.1 ～ 5.3.31	ベビーホーム・虹	8人	6ヶ月～2歳児の待機児童 (102名)	
子ども・子育て支援事業	「平田子育て支援センター」 地域子育て支援拠点事業	4.4.1 ～ 5.3.31	平田子育て支援センター	6人	1ヶ月～未就学児、保護者 (1224人)	7,291
ファミリーサポート事業	「ファミリー・サポート・センター」 ファミリー・サポート・センター事業	4.4.1 ～ 5.3.31	ユーザー宅、サポーター宅、法人事務所、平田子育て支援センター	10人	3ヶ月～小学6年生 (92人)	930

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業費の金額 (千円)

(備考)

- 2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 2(2)には、定款上、「その他の事業」に関する事項を定めているものの、当該事業年度にその他の事業を実施しなかった場合、「実施しなかった」と記載する。